

共和町義務教育学校 開校準備委員会だより 4

発行日
令和 5 年10月18日
編集・発行
共和町義務教育学校
開校準備委員会

事務局 共和町教育委員会 学校適正配置推進室 電話 0135-67-8814

昨年開校の義務教育学校「当別町立とうべつ学園」 開校準備委員会委員による学校視察実施！

10月3日(火)、共和町義務教育学校開校準備委員会による学校視察が行われました。視察した学校は、昨年4月義務教育学校として開校した石狩管内当別町のとうべつ学園です。

当別町立とうべつ学園は、平成30年(2018年)度の基本構想・建設基本設計から、令和元年(2019年)度に建設実施設計、令和2・3年度建設工事を経て令和4年4月に開校した義務教育学校です。

とうべつ学園は、統合して新たに義務教育学校として開校したことや、学校規模、児童生徒の通学方法、斬新な新築校舎など、本町開校準備委員会でこれから協議しなければならないことを経験した先輩ともいえる存在です。今回の視察では、開校に向けた取組に加えて、開校から1年半が過ぎた学校施設の状況や学校運営上の成果や課題などもお聞きしたいと考え、視察してきました。

1 日程

令和5年10月3日(火) 13:30～15:00

2 参加者

○開校準備委員会委員

佐藤 寛之(総務部) 浦口 和也(総務部) 伊藤 聡子(教育課程部)
渡辺 由佳(生徒指導部) 佐々木 一(事務設備部) 宮嶋 芳子(事務設備部)

○事務局(共和町教育委員会)

酒井 龍一(教育次長) 大坂 充(主任専門員)

3 対応者

○当別町教育委員会

学校教育課参事 川村 秀夫
教育企画係長 瀬戸 貴裕 教育企画係主任 高橋 侑己

○とうべつ学園

後期課程教頭 桂川 淳

4 施設見学について

近代的なビルのような外見、しかし中に入ると木のぬくもりが感じられ、温かい雰囲気に含まれる素敵な校舎でした。子どもたちも生き生きと楽しそうに学校生活を送っていました。



雨に濡れないようにバス乗り場から玄関まで続く回廊



校訓が掲げられている開放的な玄関エントランス



玄関エントランスから3階まで吹き抜けが続く大階段



大きめの机が配置され、廊下との境の壁がないオープン教室



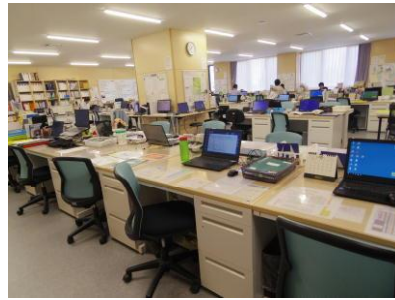
多様な学びに対応するために廊下に置かれたコート掛け



いつでもだれでも利用できる開放的な図書館



1周147mのランニングコースを備えた広い体育館



小中学校の職員が同じフロアの中で仕事ができる職員室



多目的トイレ(写真)も併設された清潔なトイレ

5 説明・質疑応答

はじめに桂川教頭から、開校から現在に至るまでの経緯についての説明がありました。次に、事前に送っていた質問事項についてそれぞれの担当からお答えいただきました。

特に、9年間の割り振りを、「4・3・2制」としたこともあり、全ての学校行事が初めての取組となり苦労したことや、教職員の小中学校の文化の違いが思ったよりも大きかったことなどの話が印象的でした。

参加者からもたくさんの質問が出され、どの質問にも丁寧に答えてくださいました。

6 参加者アンケート

本視察は「とても有意義だった」66.7%、「有意義だった」33.7%と、全ての方から肯定的な回答をいただきました。今後もこのような視察の機会を「ぜひつくってほしい」50%、「あった方がよい」50%と、こちらも全てが肯定的な回答でした。

ご意見や感想としては、「学校行事の設定、学年割り、カリキュラムの編成等、多岐にわたって参考になりました。1年経過している現状での課題などの声から、共和で考えるべきことや課題解決の方向性も見えてきました。」など、多くのご意見をいただきましたので、今後の協議や運営に生かして参ります。

教育委員会・設計業者による視察も行われました！



9月26日・27日、教育委員会と設計業者が千葉県「ラグビースクールジャパン」、東京都の(株)内田洋行「未来の教室」ショールーム、愛知県瀬戸市立「にじの丘学園」の3か所を視察しました。特に「にじの丘学園」では、図書館と一体化し、読書の場になったり、交流の場になったりする中央大階段や、地域の歴史や文化、自然を生かした校舎づくりなどが印象的でした。

また、瀬戸市全体としての人口は自然減の状態であるにもかかわらず、にじの丘学園の校区では子育て世代の転入が増加し、令和2年の開校時には700名あまりだった児童生徒数が、今では1100人以上に膨らみ、校舎を増築をしなければ追いつかない状態だそうです。新しい学校づくりが、町づくりにつながった例としても大変参考になりました。